

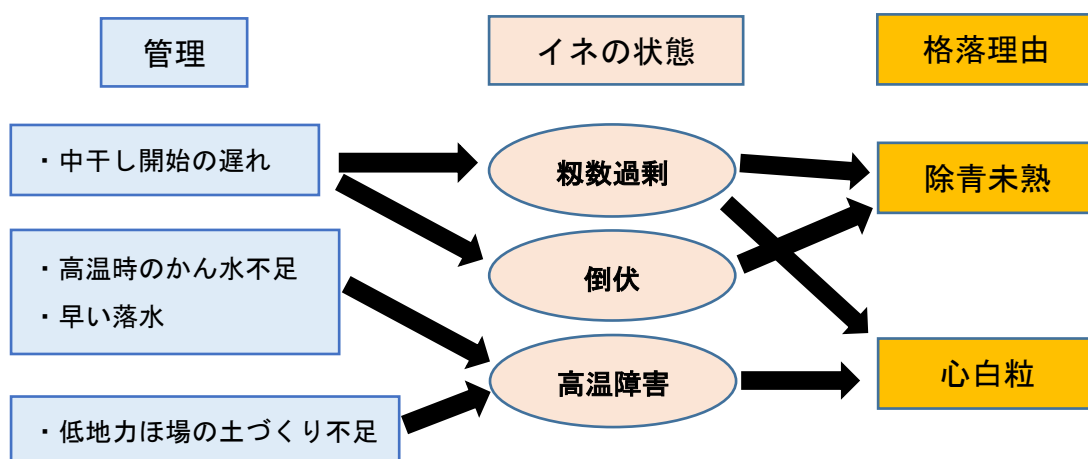
異常気象に強いコメづくりの実践！ 3年産米の更なる品質向上をめざしましょう

令和2年度は、7月の長雨・日照不足、8月～9月の異常高温・フェーン等の厳しい気象でしたが、生産者の皆様の適切な管理により、コシヒカリの1等級比率は77.9%を確保できました。

異常気象に強いコメづくりを実践し、3年度は更なる品質向上をめざしましょう。

1 2年産米の品質低下に影響した主な要因

コシヒカリの格落理由の大部分を占める「除青未熟」、「心白粒」は、管理の不徹底に厳しい気象条件が重なり発生しました。



2 3年産米の品質向上対策

(「令和3年産高品質コシヒカリの確保に向けてめざすべき管理」参照)

「適正籾数の確保」と「後期栄養確保」により、異常気象に強いコメづくりを実践しましょう。基本管理を励行することが重要ですが、特に下記3点を重点的に取り組みましょう。

- ①土づくり資材（特にケイ酸資材）の施用
- ②適期中干し開始（移植30日後頃）
- ③登熟期の水管理（飽水管理継続、フェーン時の湛水、早期落水防止）